

競技の条件

・競技方法とフットゴルフ規則

本競技は 24 ホールのストロークプレー（12H 変則 2 周 前半 12Hs を OUT/後半 12Hs を IN とする）とする。FIFG 規則とこの競技のローカルルールを適用する。FIFG ルールは、<https://www.jfga.jp/rule2025> で、競技前に必ず確認すること。

・競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

・競技終了時点

本競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

・移動

正規のラウンド中は徒歩で移動する。

・本大会はオープンの部のみである。

・タイの決定

1 位が同スコアの場合は主催者が指定するホールでサドンデスによるプレーインで決定する。また日没などの理由でプレーインが実施できない場合は【後半 12Hs のスコア > バック 9 > バック 6 > バック 3 > カウントバック > コントラスト】で順位を決する 2 位以下にタイがある場合はプレーインは実施せず【後半 12Hs のスコア > バック 9 > バック 6 > バック 3 > カウントバック > コントラスト】で決定する

・スコア提出

本大会では、選手のグロススコアが記入されている、選手、マーカー双方が署名したオフィシャルスコアカードを提出しなければならない。署名したオフィシャルスコアカードを提出した後に、スコアの訂正はできない。

本大会では、このオフィシャルスコアカードに記載されたスコアを正式記録とする。各選手は、必ず本人とマーカーの署名、スコアが記入されたスコアカードを提出すること。

・プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。プレーの不当な遅延は、FIFG 規則 (2-2-5 不当の遅延; スロープレー～2-2-7 プレーヤーの計測)

により罰せられる。

- ・ホールアウト後は、速やかに次のホールに移動すること。
- ・池にボールを入れてしまっても、危険なため自分で池の中に拾いに行かないこと。
- ・バンカーにボールが入った際は、そのままプレーを続け、キックした後は、必ずレーキで砂をならすこと。
- ・ハザードや OB に蹴りこみ、取りに行くことが困難と思われる際は、無理にボールを取りに行かないこと
- ・ホールアウト後は速やかにアテストすること。
- ・ゴルフ場のクラブハウス、駐車場、その他コース外でのサッカーボールの使用（パスやキック、リフティングなど）は、他の方への配慮のため控えること。
- ・その他、ゴルフコースでのマナーを遵守すること。
- ・大会に関する事項については大会主催者の指示に従うこと。
- ・本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は、プレーヤーへのメール通知、競技会場での掲示物に掲載、 またはスタート前に競技説明時の通知により通達される。
- ・本競技は、国際フットゴルフ連盟の FIFG 規則に優先してこのローカルルールを適用する。FIFG 規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールの違反の罰は、「一般の罰（1 罰打）」となる。

ローカルルール

1. 競技における規則について

1. 1. ティーオフについて スタートホールにおけるオナーは、ペアリングの一番左（もしくは上）の選手とし、左から右（もしくは上から下）の順番にティーキックを行うこととする。但し、間違った順番でプレーしたとしても、ペナルティ にはならない。
1. 2. 1 ホールの最大ストローク数 1 ホールの最大ストローク数は、そのホールのパー数の2倍（ダブルパー、カット）までとする。（例：パー3 では、 $3 \times 2 = 6$ ストロークが最大

スコア) ※5 打目をプレーした時点でボールをピックアップしプレーをやめること
但し、9 番、21 番の最大ストローク数は 4 までとする。

1. 3. 境界について アウト・オブ・バウンズは白杭、ラテラル・ウォーター・ハザード
は赤杭、修理地は青杭をもってその限界を表示する。又、表示のない池は水際をもって境
界とする。但し、1 番、13 番のコース右側白杭を横切った場合は、2 打罰の上、ドロップ
ゾーン（以下 DZ とする）よりリスタートする。2 番、14 番のコース左側の赤杭を横切
った場合、1 打罰の上、DZ よりリスタートすることを選択できる。8 番、20 番の青杭で囲
まれた部分にボールが停止した場合、1 打罰の上、DZ よりリスタートする。（停止した位置
により使用する DZ が異なる）。9 番、21 番の右側白線を横切った場合、無罰で DZ より
スタートする。（最大ストローク数は 4 までとする）

1. 4. フットゴルフグリーンについて フットゴルフグリーンは白線を持ってその境界を
表示する。表示のないフットゴルフグリーンはカップの縁から 3 メートルをもって境界と
する。

1. 5. 動かせない障害物について コース内の舗装道路、救済ネット、排水溝、ゴムマット等、人工の物はすべて動かせない障害物とする。（救済のニヤレストポイントに従いプレーを続ける）

2. 荒天時の対応について

2. 1. 中断について 雷等で競技を中断する場合は、競技委員または関係者が巡回し、各
選手に知らせる。競技再開の合図は、競技委員が選手に対して、競技が再開する旨を競技
委員または関係者がアナウンスし、選手が自身のマークの位置に戻ったのを確認したのち、
プレーを再開することとする。

2. 2. 中断中の練習について 中断中、選手は、競技委員会の許可なくして練習を行って
はならない。なお、明らかに自身に有利となるような悪質な練習行為が見つかった場合は、
競技委員の判断により該当選手を失格とする場合がある

2. 3. サスペンデッド 悪天候またはその他の理由により競技が中断されるなどして、同
日中の競技消化が不可能であると競技委員会が判断した場合は、下記により順位を決定す
る。中断されたラウンドの残りのホールの競技は実施しない。

・全選手が消化したホールを抽出し、それらのホールの合計スコアで順位を決定する。

2. 4. 競技短縮

悪天候またはその他の理由により、競技消化が不可能であると競技委員会が判断した場合、競技委員会は、当該競技を短縮することができる。

2. 5. プリファードライについて

悪天候またはその他の理由により、コースコンディションが不良になった場合、競技委員の判断によりプリファードライを設けることがある。プリファードライを設ける場合、競技委員は、第一組がスタートする前に、競技委員による競技説明において、全ての選手にプリファードライが設定されることを周知する。プリファードライが設定された日の競技においては、コース上において、マークの上、ピックアップを可とし、救済のニヤレストポイントからプレーする。

2. 6. プリファードライ導入時のボールのピックアップについて

悪天候によりプリファードライを設けた場合、ボールをピックアップした際には無罰でボールを拭いても良いこととする。

3. その他

3. 1. プレーオフのホール

プレーオフのホールは、No.24 とし勝敗がつくまでプレーを続ける。但し、競技委員会は、悪天候等止むを得ない事情がある際には、プレーオフのホールを変更する場合がある。

3. 2. 記載のない事項

本ローカルルールに記載のない事項が発生した場合、主催者及び競技委員会で都度競技を行い決定する。